

2015年9月19日

【党声明】

立憲主義を守るため、国民と共に安倍内閣と戦い続ける

民主党

本日、安倍政権は参議院本会議において安全保障関連法案を可決、成立させた。憲法違反の法案を、国民の理解も納得も得られないままに、強引に成立させたことは、我が国の立憲主義、平和主義、民主主義を大きく傷つけるものであり、最大限の怒りをもって抗議する。

国民的議論を欠いたままに一内閣が意図的・便宜的に憲法解釈を変更したことは立憲主義に対する重大な侵害である。あいまいな新3要件に基づく集団的自衛権の行使は、専守防衛や海外派兵の禁止という憲法9条の平和主義の根幹を揺るがす。三権分立という民主主義の根幹を理解せず、また国民の6割、7000万人以上が反対し、8割、1億人が説明不十分とする法案を強引に成立させたことは民主主義に対する挑戦である。これらは戦後70年、平和で豊かな日本をつくるために努力されてきた多くの先人たちに対する裏切り行為であり、日本を引き継ぐ未来の日本人に大きな禍根を残すものである。

安倍内閣の暴走に強い危機感を持った子どもを連れたお母さん、若いカップル、学生などこれまで政治に対する関心を示さなかった方々も含め多くの国民が自らの意思で反対の声をあげてきた。民主党はその危機感を共有する。そして、今回立ち上がった国民の皆さんとともに、立憲主義、平和主義、民主主義を守るために、新たな戦いを始める。

以上